

# 海岸ごとの高さ公表

県堤防 復旧 最大は小泉14・7メートル

東日本大震災で被災した堤防の復旧方法などを住民に知つてもらおうーと、県が新堤防の高さや完成後のイメージを公表した。気仙沼・本吉地方では33海岸と18河川の事業概要を説明している。海岸堤防の高さ設定の考え方も明らかにし、背後に保全すべき施設がない場合は、震災前の堤防高で復旧する方針を示した=3面に堤防高の一覧表。

震災の被害を踏まえ、堤防の高さは明治三陸級の津波に備えて大幅に高くなる。沿岸の風景は一変してしまった。

今回公表したのは、海岸ごとの堤防の位置、高さ、復旧スケジュール、完成後のイメージ図などの事業概要で、県河川課のホームページに掲載。復旧

の考え方を理解してもうため、高さの設定方法も具体的に説明している。

堤防の位置は、高潮や浸食から背後地を守ることを目的としている。

堤防の位置は、高潮や浸食から背後地を守ることを目的としている。松島や女川湾では度低くすることができる。

約3倍となるため、土手タイプの緩傾斜堤を整備する。

この「特殊計画堤防」が見込めたりできれば、計画よりも1倍程度低くすることができます。

河川の津波対策は、河口に防潮水門を設置する手法を進めてきた

が、震災で多くの水門が激しく被災。再び開閉することが難しく、内水排除に支障をきたした教訓から、河川堤防による対策に切り替えられる。各河川には海岸堤防の高さに基づいた堤防が整備されるため、多くの場所で橋の架け替えが必要になる。

農水省管轄の漁港堤防の整備については、タイプなどを決められた。既設の5・5倍の

が、震災で多くの水門が激しく被災。再び開閉することが難しく、内水排除に支障をきたした教訓から、河川堤防による対策に切り替えられる。各河川には海岸堤防の高さに基づいた堤防が整備されるため、多くの場所で橋の架け替えが必要になる。

が、震災で多くの水門が激しく被災。再び開閉することが難しく、内水排除に支障をきたした教訓から、河川堤防による対策に切り替えられる。各河川には海岸堤防の高さに基づいた堤防が整備されるため、多くの場所で橋の架け替えが必要になる。